

発表場所：公益社団法人 日本測量協会 資料配布
発表日時：平成25年12月24日(火)
解禁日時：平成25年12月24日(火) 10時

公益社団法人日本測量協会

公益社団法人日本測量協会の認定資格「地理空間情報専門技術者」の有資格者による「ジオメトリストの会」発起人会を結成

公益社団法人日本測量協会(会長 村井俊治)が認定する民間資格「地理空間情報専門技術者」の有資格者による「ジオメトリストの会」を平成26年4月1日に発足させるため、発起人会が結成されました。

「ジオメトリストの会」は、地理空間情報専門技術者の会であり、会員は測量の分野別により高度な専門知識と応用技術に加え地理空間情報の利活用に関する経験と見識を有しています。

活動を通じて、自己の専門技術の向上、企業横断型の情報共有を通じた地理空間専門技術の普及・発展の先導的役割を果たすことを目的としています。

平成25年12月19日、55名の参加で発起人会が開催され、平成26年3月までを発起人会による暫定期間として結成されました。

役員選挙の結果、暫定期間内の会長は「鈴木寛(朝日航洋(株))」、副会長は「加藤哲(国際航業(株))」・「小松崎弘道(株パスコ)」の各氏が選任されました。

詳細は別紙のとおり

- 資料 1 地理空間情報専門技術者について
- 資料 2 「ジオメトリストの会」発起人会の資料

(問い合わせ先)

公益社団法人 日本測量協会 〒112-0002 東京都文京区小石川 1-3-4
測量継続教育センター 測量技術教育部長 白井康友 03-5684-3355
測量継続教育センター 測量技術教育部 甘楽 実 03-5684-3360

地理空間情報専門技術者について

公益社団法人日本測量協会

1. 日本測量協会の認定資格

当協会の認定資格は、新しい測量技術に的確に対応し、正確な測量成果を得ることが出来る民間の技術者を養成するために、昭和 43 年から測量専門技術教育が始まり、その測量技術の習得の程度を、日本測量協会の実施する筆記試験等で判定し、当該専門技術に的確に対応できる技術者であることを認定してきました。この認定された技術者は、それぞれの専門分野の「**測量専門技術者**」と呼ばれていました。

平成 21 年度からは、平成 19 年度に地理空間情報活用推進基本法が制定されたため、従来の測量専門技術者の当該専門技術に加え、地理空間情報分野に関する高度な専門知識等の能力を有する技術者を認定するための資格に変更しました。この認定された技術者は、それぞれの専門分野の「**地理空間情報専門技術者**」と呼ばれています。

また、平成 17 年度には、広範な空間情報を通して国土管理の業務を効果的に遂行するための、高度な専門知識と豊富な知見・経験を有する技術者を認定するための資格を創設しました。この認定された技術者は「**空間情報総括監理技術者**」と呼ばれています。

2. 地理空間情報専門技術者

①資格の取得方法：講習会受講後、認定試験に合格した者

②受験資格：測量士又は測量士補の資格及び実務経験

③資格基準

1 級：国土交通省積算基準の測量主任技師と同等クラス

2 級：国土交通省積算基準の測量技師と同等クラス

④認定試験科目：4 科目～8 科目

⑤技術認定課目及び認定者数（平成 25 年 12 月 1 日現在）

認定課目	認定者数	認定課目	認定者数
基準点測量 1 級	1, 305 名	基準点測量 2 級	2, 370 名
写真測量 1 級	144 名	写真測量 2 級	341 名
G I S 1 級	155 名	G I S 2 級	320 名
防災調査	37 名	環境調査	25 名
路線測量設計	560 名	河川測量設計	529 名
用地測量調査	708 名	総認定者数：6, 494 名	

⑥認定資格取得後の条件

◆5 年毎の更新講習の受講

◆更新時に測量 CPD を 30 ポイント以上取得（平成 26 年度から）

「ジオメトリストの会」 発起人会

「地理空間情報専門技術者の会」
2013年12月19日

「ジオメトリストの会」発起人会 議事次第

- 「ジオメトリストの会」設立の経緯について
鈴木 寛（朝日航洋株式会社）
- 「スペシャリストの会」活動状況について
瀬戸島 政博（公益社団法人日本測量協会）
- 測量系CPD取得方法と活用について
白井 康友（公益社団法人日本測量協会）
- 「ジオメトリストの会」に期待すること
グループ協議、総括

地理空間情報専門技術者とその活動

- 地理空間情報専門技術者の資格取得者は、
全国5,000人規模近づいている
- 充実した継続教育の測量系CPD取得は必修、
年20ポイント取得すると加点される
- この資格を要件とした発注物件を拡大さ
せて、優良技術者を育てる
物件調査から初めて、業界を越えて
アピールする場が生まれてくる。

「ジオメトリストの会」について

- ジオメトリストの会：Geometrist Club
- 地理空間情報の専門技術集団の会
2013年12月発起人会発足
- 測量技術のGeometryと専門家のSpecialist
を合わせた造語として、Geometristという
- 「地理空間情報専門技術者」資格認定者による会

「ジオメトリストの会」の目的

地理空間情報専門技術のさらなる発展に
貢献するため、地理空間情報専門技術者の
相互の情報共有、専門技術力向上に向けた
指導・育成・継続教育支援を行う集団とし
て、わが国の地理空間情報専門技術におけ
る企業横断形の役割を果たし、併せて会員
相互の親睦を図ることを目的とする。

「ジオメトリストの会」の事業

- 本会は、会員による自主的で独立的な組織である。本会の
目的を達成するため、情報交換会、研修会、視察、講習会、
講演会、出版、提言、その他必要な事業を行う。
- メールマガジン等を利用した情報発信と情報共有を目指す。
- 会長の委任を受けて、それぞれの活動の担当委員が企画・
計画・実施を行う。活動は、定期的に会員に報告する。
- 会活動の一環として支部を設置する。正式名称は「ジオメ
トリストの会〇〇支部」とする。ただし、支部活動等の便
宜上、略称・愛称を使用することも認める。
- 支部は正会員から構成し、互選によって支部長を決定する。

「ジオメトリストの会」入会資格

- 社団法人日本測量協会が実施する地理空間情報専門技術者として資格が認定された者とする。
- 基準点測量 1・2 級
- 写真測量 1・2 級
- GIS 1・2 級
- 路線測量設計・河川測量設計・用地測量調査
- 防災調査・環境調査
- その他

「ジオメトリストの会」役員と顧問

- 本会の役員には、会長（1名）、副会長（2名以内）、代表委員（10名以内）、委員（10名以内）、年次代表幹事（各1名）、監査（若干名）、評議員（若干名）を置く。
- 会長は、会を代表し、総会など会議の議長を務める。会長は、会の運営に関する議案やその他の計画・提案の取りまとめの責任をもつ。
- 副会長は、会長が不在あるいは任務不能となったときの会長代行を務める。
- 代表委員および委員は、総会の決議に基づいて会務の審議処理を担当する。
- 監査は、本会の経費の監査を行う。
- 顧問は、正会員の推薦により総会の決議を経るものとする。

「ジオメトリストの会」総会（発起人会）

- 年次報告、収支決算、次年度計画、次年度予算、会計監査、入会・退会、役員選出、その他、会の運営に必要な事項の決議は、総会において、会員の過半数を以って決定される。
- 総会は、原則として、会計年度終了後3ヶ月以内に開催するものとする。
- 会則変更は、会員の3分の2以上を以って決議される。

「ジオメトリストの会」会計年度と事務局

- 会計年度は、4月1日から翌年の3月31日とする。
- H25. 12. 1～H26. 3. 31は、発起人会による暫定期間とする。
- 本会の事務局は、東京都文京区小石川1-3-4 公益社団法人日本測量協会測量技術教育部に置く。
- 事務局では、会員に対する事務連絡など、会の運営に必要な事務を行う。
- 事務局（会計）東京都文京区小石川1-3-4 公益社団法人日本測量協会測量技術教育部 廿楽 実

「ジオメトリストの会」の活動内容

- 技術発表会と講演会の開催、情報交換、研修会、講習会、出版、提言などの事業を行う
- 地理空間情報専門技術者の継続教育支援により、最新専門技術を蓄積した測量技術者としての実務能力の向上と社会的認知の向上に向けた活動を行う
- メールマガジン等を通じた最新情報の発信と会員間の情報共有を推進する

「ジオメトリストの会」の活動予定

- 平成25年12月 東京周辺地域を対象とした発起人会の発足と開催
- 平成26年4月 「ジオメトリストの会」発足
平成26年度会員募集と総会開催
- 平成26年6月 SP会合同技術発表会（空間情報技術事例報告）と特別講演会の開催
測量月間としての活動
- 平成27年 4月 全国各支部の発足、
平成27年度会員募集と総会開催等

「ジオメトリストの会」発起人

- 瀬戸島 政博、柴田義冬（日本測量協会）
- 鈴木 寛、杉森 純子（朝日航洋株式会社）
- 白戸 丈太郎、山崎 廣二（アジア航測株式会社）
- 加藤 哲、小川 忠利（国際航業株式会社）
- 小松崎 弘道、日當 卓也（株式会社パスコ）
- ◆ 事務局（日本測量協会）
白井康友、桐内勉、高橋保博、廿楽実、
阿部理恵子